

# 「少人数向け訪問型研修」 支援対象企業募集のご案内

広島市では、広島広域都市圏(※1)内の自動車関連企業を始めとするものづくり企業に、専門知識を有する各種講師を派遣(※2)し、各企業の課題解決の取組に必要な従業員のスキル向上やリスキリングに取り組むことで、人材育成を支援します。(※3)

(※1) 広島広域都市圏：広島市、呉市、竹原市、三原市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、浜田市、出雲市、益田市、飯南町、川本町、美郷町、邑南町、吉賀町

(※2) 派遣（2～3日に分けて、合計8時間程度）にかかる費用は**無料**です。

(※3) 本公募は、令和8年度予算成立を前提として実施するものであり、事業開始は令和8年度となります。また、今後内容等が変更になることもありますので、あらかじめご了承ください。

講師を**無料で派遣**し、  
次のような支援を行います

## 1.参加申込書 提出

## 2.事前ヒアリング

対象：監督者（経営者等）及び教育対象者など  
内容：事業概要、動機、従業員の現状など

## 3.教育の実施

合計8時間程度  
2～3日に分けて実施

上記2.事前ヒアリングの実施後、従業員（最大3名）に対し、  
以下のメニューから2～3日に分けて、合計8時間程度の教育を実施します。

教育メニュー	研修内容
①問題解決技法	問題の定義、原因分析、解決策立案の基本手法
②QC 手法	QC七つ道具、データ分析、改善活動の進め方
③機械設計・製図初級	図面の基本構造、寸法記入、製図の約束事
④機械設計・製図中級	簡単な機械部品の図面作成、製図演習
⑤油空圧初級	油圧・空圧機器の構造、動作原理、JIS回路記号
⑥電気初級	電気図面の基本構造、記号の意味、配線図の読み方
⑦電気中級	シーケンス図の構成、動作理解、保全への応用
⑧Excel 初級	表計算の基本操作、グラフ作成、セル書式設定
⑨Excel 中級	関数(SUM、IF、VLOOKUPなど)の活用、データ整理
⑩Excel マクロ初級	VBAの基本構造、簡単なマクロ作成、関数利用
⑪RPA 初級	RPAの仕組み、簡単な自動化処理の設定方法
⑫情報発信初級(HP)	ホームページの基本構造、更新・修正方法
⑬ノーコード/ ローコードツール初級	ノーコード／ローコードツールの基本操作、簡単なアプリ作成

※今後内容等が変更になることもありますので、あらかじめご了承ください。

- **対 象** 広島広域都市圏のものづくり中小企業 10社  
(うち自動車関連企業6社程度)
- **申込方法** 参加申込書を記入の上、**4月10日(金)まで(必着)**に下記申込先に提出ください。  
参加申込書の様式は、広島市ホームページからダウンロードできます。  
**※4月10日までに募集企業数(10社)に満たない場合、募集を継続します。**  
4月11日以降の募集状況は、以下問合せ先にお問合せ下さい。

申込先・  
問合せ先

広島市 経済観光局 産業振興部 地域産業振興課

TEL : 082-504-2238 FAX : 082-504-2259

E-mail : [chiikisangyo@city.hiroshima.lg.jp](mailto:chiikisangyo@city.hiroshima.lg.jp)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/business/sangyo/1021496/1026450/1017539.html>



# 少人数向け訪問型研修 人材育成の支援について

## 申込動機の例

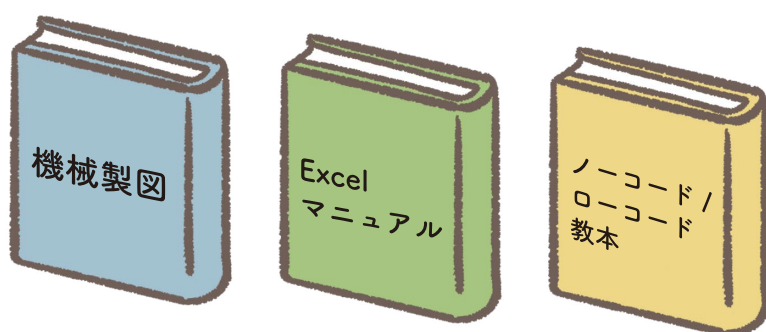
訪問型研修では、従業員のものづくりスキル向上やリスキリングなどに取り組むことにより、人材育成を支援しています。特に、従業員に外部研修を受講させることが困難な小規模事業者からは好評をいただいております。これまでには、次のような動機で申込みいただいた例があります。今後の申込みの参考にご覧ください。

- 取引先からの図面を見て、どのような形状の製品かイメージでき、かつ簡単な製作図が作成できる従業員を育てたい
- 営業会議や取引相手への提出などで使用する資料をPCで作成できる従業員を育てたい
- 現場の従業員の就業時間や製造個数を把握したり、製造原価を正確に記録できるリーダーを育てたい
- 生産現場のリーダーに、生産工程の改善による生産性の向上に取り組むスキルを身に付けてもらいたい

## 支援メリットと研修状況

ものづくり企業の従業員に必要な教育メニュー（裏ページ下の一覧参照）について、企業へ講師が訪問するため、受講しやすいのが特徴です。また、少人数（最大3名程度）に対して教育メニューをカスタマイズしながら実施するので、従業員が自分事化しやすく、より効果的になります。

また、人材育成計画書の教育手段メニューとして活用することもおすすめします。



教育メニューごとに、  
適切なテキストや  
問題集を使用して、  
教育します



### ● 実際の様子

